意欲的に楽しく取り組む 硬筆指導の実際

広島県広島市立大塚中学校教諭　澤井美由貴（さわいみゆき）

1 実践の趣旨

今年の一月のこと、入学願書を手にした生徒が、「自分の名前のバランスがうまくとれないのですが、どう書いたらいいですか?」と尋ねてきた。パソコンが普及した現在だが、生徒にとっては日常生活でも授業中でも、自分で文字を書く場面はたくさんある。そして、自然に「ていねいに」「読みやすい字で」「少しでもうまく」という気持ちがわき起こる場面がある。

私は、このような気持ちになる場面を書写の学習の中でも作ろうと心がけ、「読むこと」や「書くこと」の学習や総合的な学習との関連を図った計画を立てている。その取り組みの中からいくつかを紹介する。

2 指導の実際

❶「野原はうたう」を書く（資料1）

一年生国語の巻頭教材である「野原はうたう」に掲載されている詩は、すべて平仮名で書かれている。このことを活用し、平仮名を書く指導と配置よく詩を書く授業を行った。

ア　平仮名の練習をする。文字の成り立ちを学習するとともに正しい字形で書けるようにする。

イ　学習のまとめとして「のはらうた」のほかの詩を紹介し、教科書の詩も含めた中から、好きな詩を選ぶ。

ウ　文字の大きさを考えて練習する。

エ　用紙に配列を考えて下書きをし、フェルトペンで清書する。

オ　書き終えたら、詩にふさわしい絵を描き、色鉛筆で色を塗る。

カ　教室に掲示する。

二年生の国語では、最初の教材である「春に」の学習が終わったあと、春の詩の中から一つ選んで同じ要領で書いた。

❷ 手紙を書く（資料2）

一年生の国語教材「手紙を書こう」の学習を生かして、小学校の先生に手紙を書く活動である。文字の大きさ、楷書とかなの調和に気をつけ、行の中心をそろえて書くように指導する。

ア　手紙の書き方を知る。

イ　小学校の先生に近況報告をする手紙の内容を考える。

ウ　便箋を使って清書をする。

エ　封筒に表書きをする。

本校では二年生で職場体験学習を行う。その依頼の手紙やお礼の手紙を書くときにこの学習が生きる。

❸「日めくりカレンダー」を作る（資料3）

三年生で卒業が近づいたころ、一日ごとにめくっていく「日めくりカレンダー」を一人一枚ずつ作成する活動である。一枚の紙の中に配置よく書くことを目標にし、選んだ言葉をいちばん大きく書くように指示しておく。

ア　ことわざ、故事成語、四字熟語などをプリントにしておく。その中から自分の好きな言葉、みんなに伝えたい言葉を選ぶ。あらかじめ予告しておき、自分の好きな言葉を事前に決めておいてもよい。難しい言葉の場合は、読み仮名や意味を付け加えるようにする。

イ　自分が担当する日を決める。卒業まで何日なのか、その日の行事なども書けるようにしておく。

ウ　必要な言葉がすべて入るようにレイアウトを考える。

エ　A4またはB4判の用紙を準備する。文字の大きさや配列を考えて下書きをする。

オ　フェルトペンなど用具を選んで清書をし、ふさわしいイラストを書く。

カ　できあがったカレンダーは学級に掲示し、一日ごとめくっていく。

国語の授業でカレンダーに書いた言葉を取り上げるようにする。

3 成果と課題

書写というと、教科書をもとに毛筆、硬筆で書くだけの時間になってしまいがちであるが、毛筆で学習したことを硬筆へ、硬筆で学習したことを日常生活へと発展させることが大切である。

本実践では、「読むこと」や「書くこと」の学習、言語感覚を磨く学習の一環として書写学習を行った。自分の好きな詩や言葉を選んだり、イラストを入れたりすることで、自分だけの作品ができるという気持ちから、大変意欲的に取り組むことができる。小学校の先生への手紙も、懐かしい気持ちや自分の成長を知らせたいということから、ていねいに書こうとしている。

しかし、ていねいに書こうとするあまり、時間がかかりすぎてしまう生徒もおり、日常化につながっていない場面も見られた。今後は時間を計って書く書写活動を入れるなどして、日常の書写活動に生かせるようにしていきたい。

▶資料1

▶資料2

拝啓 盛夏の候 みなさまいかがお過ごしでしょうか。
先日の職場体験では お忙しい中にもかかわらず いろいろとご指導いただき ありがとうございました。
リハビリセンターという所に行くのは初めてで とても緊張したのですが 優しく教えていただいたので とても楽しく体験をさせていただきました。一日目では 看護体験や 理学療法の事などについて 色んなお話を聞かせていただきました。
二日目では 車いす体験や 作業療法など 老人の人との関り、これらをすべてふくめて これからの生活に生かしていきたいと思っています。
よい体験が出来た事を 心からお礼申し上げます。　敬具
七月三日
広島市総合リハビリテーションセンター 御中

▶資料3

3/9(月)　名前

卒業式まであと2日

一期一会（いちごいちえ）

人と人との出会いは、一生に一度だけだから大切にせよ、ということ。

～クラスのみんなへ～

修学旅行に合唱コンクール、体育祭…
楽しい思い出をありがとう。
これからもよろしく。